

## 先生を増やすために力を合わせて！

### ～全教広島が自治体キャラバン実施～

全教広島は1～2月、県内全自治体に対して教員増員を求める要望・陳情のキャラバンを行い、全教福山は世羅町、神石高原町、三原市・尾道市、府中市、福山市を訪問しました。

(写真は上から福山市教委、神石高原町議会、福山市議会)

#### ■ 各市町の教育長に対する要望書(国・県に対する要請を求める)

- 1、国の責任で、学校の業務量に見合った教職員配置をすすめるため、定数法(義務標準法、高校標準法)の改正をすること。
- 2、長時間労働を抑制するため、教員に残業代を支給可能とする給特法の改正をおこなうこと。
- 3、「教育に穴があく」状況を解消するため、代替制度を確立し、代員を速やかに配置すること。

#### ■ 各市町の議長に対する陳情書(国に対する意見書採択を求める)

- 1、国の責任で、学校の業務量に見合った教職員配置をすすめるため、定数法(義務標準法、高校標準法)の改正をすること。
- 2、長時間労働を抑制するため、教員に残業代を支給可能とする給特法の改正をおこなうこと。



訪問したのは、それぞれの自治体の議会(議長)と教育委員会(教育長)です。

全教福山からは、「このままでは学校がもたない」という深刻な事態がつついていることを、具体的な事例を紹介しながら説明しました。1日中休憩時間がなくトイレにも行きづらいくらいの多忙がつつく→病休者が増える(退職に追い込まれることもある)→代替者が配置されない→もっと忙しくなる、という悪循環が続いている。特に若年層にしわ寄せが大きい。先生にとって最も大切な教育研究が疎かになっている。こうした問題の根本的な責任は、先生を増やし1人当たりの持ち時間数を減らすための予算を増やさない国にある…ということを説明しました。その上で国や県に対する要請や意見書の採択を強く求めました。

- ◎ 「このままでは学校がもたない」という事態はよく承知しています。議会でも討論されています。
- ◎ 一人ひとりの子どもたちをきちんと見られる教育環境が大切です。
- ◎ 管内にも病休者がいます。フルタイムの代わりに時間講師といったケースもあり、代替措置が不十分で先生方にご迷惑をかけています。
- ◎ 複式学級の加配と産育休の代替措置に苦心しています。
- ◎ 先生方の働き方について、毎月の学校衛生委員会や企画委員会で論議しています。
- ◎ 多くの先生たちが他の自治体から通勤されていて、長時間勤務になると通勤も心配です。

◎ 教頭の代替が見つからず、校長の時間外勤務が 100 時間/月を超えていて何とかしないと…。

◎ 先生方がご自身の家庭を大切にしながら生きがいをもって仕事をしてくださることが大切です。先生にはいつも笑顔でいてもらいたいです。

すべての議会と地教委が、こうした実態を打開するために国や県に対して要望を出していることも明らかになりました。ひきつづき早急な対応を求めていきたいと思えます。

キャラバンには舩石委員長、北川書記長（二人は全行程に参加）、小林副委員長、福岡篤紀特別執行委員らが参加しました。

## 給食は学校教育の大切なカリキュラム/給食費無償化は時代の流れ/安全・おいしい・栄養たっぷりの給食を! 「市民の会」が学校給食の無償化を求める署名を提出

子どもと教育を守る福山市民の会は 1 月 31 日（水）、福山市の小中学校の給食費無償化を求める署名を市長と教育委員会へ提出しました。署名は昨年秋から取り組んだもので、福山支部の仲間のみなさんをはじめ多くの父母・市民から寄せられました。たくさんのご協力をありがとうございました。

提出にあたっては、約 30 分余りにわたって学校保健課と懇談を行い、①学校給食は教育の重要な一環である ②昨今の物価高騰で「隠れ教育費」が家計を圧迫している ③学校給食無償化はすでに全自治体の 1/3 近くに上っており時代の流れである—などを伝え、早急な対処を求めました。市教委は「要望の趣旨はよく理解できます。教育格差を生じさせないよう国に対しても要望を出していますが、市の財政的な問題が最も大きな課題です。」と回答しました（懇談には教育部長が同席しました）。

市民の会と全教福山は、ひきつづき民主団体などと連携しながら給食無償化の早期実現を目指して運動を進めていきます。



（左から）高木市議、小林事務局長、宮錦会長  
（右）市教委・亀山教育部長

## 2024/福山地区労会議・春闘学習会

### 人間らしい暮らしとはたらし方～福山市政の根本的転換を！～

福山地区労会議は 9 日（金）、‘24 春闘学習会を開催し 25 人の参加がありました。今年の学習会は、4 月 7 日（日）に投票が予定されている福山市議選を前に、“福山市政がいったいどうなっているのか、教育行政はどうなっているのか？”を学ぶことを目的に開催されました。

講師の三好剛史福山市議は、枝広市政を「暮らしより開発、市民より財界を優先する政治」と指摘し、その内容を具体的に説明されました。

- \* 福山駅前開発を最優先課題とし、多額の市税を投入（後日の市長選立候補表明でも強調した）。
- \* 一方で市民の財産ともいえる公共施設を 20%も削減予定（床面積、2016 年度から 30 年間で）。22 年度末までに東京ドーム 1.5 個分が消え、特に学校と保育施設がターゲットになっている。
- \* 大型公共施設の整備が多発、それらを民間事業者に運営させ自治体機能が弱体化する恐れ。
- \* 元財務官僚の人脈を利用して、福山内港の埋め立てなど財界言いなりの大型公共事業を推進。



三好剛史市議

これに対して「教育の穴を埋めるお金はないのに、内港を埋めるお金はあるのか？」との批判が出ています



- \* 市周辺部の切り捨てで、子どもや高齢者が住めなくなっている。学校統廃合はその最たる事例。
- \* 市職員の男女別、正規・非正規別の給与格差（正規時間単価＝男性 2180 円、女性 2010 円など）

こうした市政の結果として、教育や福祉が一番後回しにされ、福山市はとても住みにくい自治体になっています。少子化と転出超過に歯止めがかからない福山市の動向が、「転出超過 3 年連続日本一の広島県」の一因になっていることも明らかにされました。

参加者からはさまざまな質問・意見が出されました。船石全教福山委員長は「福山市は文科省の方針を先取りして学校現場に大きな負担を押し付けているように思う」、北川同書記長は「学校給食の自校方式を投げ出そうとしているが、職員削減への一歩だ」とそれぞれ発言し、福山市の、子どもたちを置き去りにした貧困な教育政策を批判しました。

最後に、「労働組合は選挙で特定の政党や個人を支持するものではありません」という基本的な立場を確認した上で、まともな地方自治を取り戻すために「それぞれ（個人）の立場で市議会議員選挙に関心をもってかわり、投票に行きましょう」と確認しました。



## 全教広島 2024－2025 年度役員選挙について

全教広島の役員は規約によって任期 2 年となっていますので、今年度は役員選挙の年です。選挙公報と投票用紙をお届けしますので、すべての仲間みなさんが投票に参加して下さいませようよろしくお願いします。



### 選挙日程

- ① 原則投票日……………**3月 1日（金）**  
都合が悪い場合には、分会で都合のよい日を選んで実施してください。
- ② 投票締め切り………**3月10日（日）18：00 全教福山まで**  
なお、この日時に間に合わない分会・個人は、**3月16日（土）13:00 選挙管理委員会（全教広島）必着** で郵送してください。

### 投票方法

- ◆ 投票は、選挙広報に記載されているように、次の手順に従って実施してください。
- ① 分会で「選挙管理者」を選任してください。
- ② 投票は、個人の秘密を保持するために「**個人用投票封筒**」を 사용합니다。
- ③ 投票にあたっては、選挙公報及び個人投票用封筒記載の注意事項をよく読み、無効票が生じないようにご注意ください。
- ④ 分会で選任された「選挙管理者」は、個人の投票用紙が入った「**個人用投票封筒**」のすべてをそのまま「**分会投票用封筒**」に入れ、表面の必要事項を記入し、ただちに福山支部書記局に送付してください（3/10の投票締め切りに間に合わない場合は全教広島へ直送してください）。
- ⑤ 福山支部への送付は、同封の封筒をお願いします。**表面に分会名を必ず記入してください。**

## 2024 国際女性デーin福山

### 今、戦争・紛争と日常の暴力について考える

国際女性デー（International Women's Day）は、1975年に国連が記念日として制定しました。そのルーツは1900年代初頭にあった女性の参政権や女性労働者に関する運動です。1975年に国連が制定し、さらに2年後に国連の定める公式な日になりました。

今年も『国際女性デーin福山』が開催されます。今年には江口昌子さんがお話し下さいます。江口さんは、1960～80年代に福山市の小学校教員として勤務されていたころ、「福山空襲を記録する会」の中心的なメンバーとして、福山だけでなく日本の平和教育をけん引された方です。

たくさんのご参加をお待ちしています。

詳細は別紙にて同封しています

◆ 3月17日(日)14:00～15:30 福山市東交流館（東町3-7-35）



### 教員の長時間勤務は「学校の危機」 — 18万人分の署名提出

「このままでは学校がもたない」と、教育研究者有志の呼びかけで昨年5月から全国で展開した署名運動の結果、18万2226人分の署名が集まり、文部科学省に提出しました（写真＝15日）。

中教審も14日から審議に入っていますが、現場の切実な願いに向き合わない議論がつづいています。▼教員にも残業代を支給する▼学校の業務量に見合った教職員を配置する▼これらを実現すべく教育予算を増額する—こうした要求はますます重要になっています。15日夜には参院議員会館での院内集会も開かれ、全教広島神部書記長が「県内全自治体に先生増員を求めるキャラバンを実施した」と報告しました（集会には小林支部副委員長もオンラインで参加しました）。



福山支部の仲間のみなさんにも署名にご協力いただきありがとうございました。

#### 当面の予定

##### 2月

21（水）全教広島共済担当者会議（19：00 オンライン）

27（火）子どもと教育を守る福山市民の会事務局会議（19：00 書記局）

##### 3月

1（金）3・1ビキニデー

7（木）県労連幹事会（18：00 オンライン）

12（火）福山地区労会議幹事会（18：30 川口東交流館）

13（水）3・13重税反対全国統一行動in福山（13：00 入船交流広場）

14（木）春闘勝利県民集会（18：30 アリスガーデン）

17（日）国際女性デーin福山（14：00 福山市東交流館）

19（火）子どもと教育を守る福山市民の会事務局会議（19：00 書記局）

21（木）全教広島執行委員会（19：00 オンライン）



### 能登半島地震被災地を支援するためのカンパにご協力を！

2024年度初め  
人事の希望調査実施中

全教広島奨学生募集中

募集〆切 3月6日(水)